

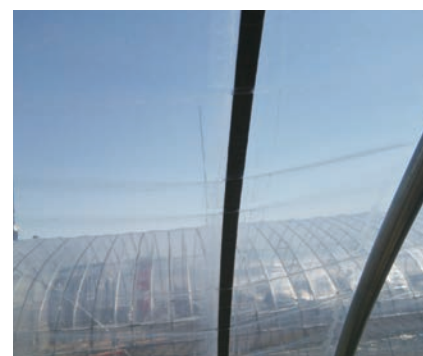
クリントートFXの効果確認試験



①ハウス内(試験区)



②ハウス内(試験区)



③バンド部分(試験区)

試験目的

クリントートFXの効果確認試験

試験作物 及び品種

水稻(きらら397、ななつぼし、ゆめぴりか)

試験資材 及び数量(規格)

クリントートFX(0.1mm×900cm×110m) 1枚

慣行資材

ハイバールコート

栽培方法

播種日

4月24日

資材使用期間

4月～6月

試験区面積

540㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と変わらず、展張作業は問題なかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

育苗期後半、透明度の高いクリントートFXの方が生育はよかったと思う。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：・慣行品と比較して透明度が高い点。
・農ビよりも軽量で丈夫な点。

【問題点】：・ハウスバンドとの相性。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

今回は問題なかったが、次年度以降も観察していく。

(5)促成・抑制効果について

苗の生育はクリントートFXの方が良いと感じた。

(6)保温効果について

保温効果の差は感じられなかった。

(7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と変わらず、問題なかった。

モニター感想

クリントートFXは透明性が高く生育はよかったと思う。今後は2～3年使用してどこまで透明性が続くのか見ていきたい。展張の際バンド部分でシワができてしまい、ポタ落ちはあったが思ったよりも気にならなかった。

バンドレスフィルムなのは理解しているが、昔からバンドを使っているためスプリングへの切替は難しい。

JA担当者の感想(資材推進課 遠藤主査)

もともとバンドレスフィルムなので、バンドをすることでどうしてもバンド部分のフィルムが伸びきらず、硬化したままなので何とか改善してほしい。それ以外は満足できる資材だと思う。

今後は営農コスト削減に向けて、クリントートCEなどの薄肉化フィルムの展張試験を検討してほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

次年度以降透明度の経過を観察していきたい。